

スポット ニュース

瑞浪超深地層研究所の状況

瑞浪超深地層研究所では、用地内の工事が順調に進み、主立坑が 51.5 ㍍、換気立坑が 45.5 ㍍と予定区間の掘削が終了しました。

今後は、50 ㍍より深い部分を掘るために必要なやぐらなどの搬入やそれに伴う地上設備の設置などを行っていきます。なお、50 ㍍より深い部分を掘る作業は来年 2 月頃を予定しておりますが、研究の進捗により 17 年度になる場合があります。

また、深いボーリング孔 (MIZ-1) についても 1,300 ㍍にて掘削を終了し (当初予定 1,350 ㍍)、今後ボーリング孔を利用した各種の調査試験を行っていきます。



写真は換気立坑 (45.5 ㍍)



写真は MIZ-1 号孔

今月の主な作業内容

【瑞浪超深地層研究所】(9月17日現在)

深いボーリング孔の掘削作業および調査

(MIZ-1号孔：掘削終了 掘削長 1,300 ㍍ 試験中)

主立坑と換気立坑の掘削工事および調査 (深さ約 10 ~ 50 ㍍区間)

(主立坑：51.5 ㍍ / 予定区間の掘削および調査が終了)

(換気立坑：45.5 ㍍ / 予定区間の掘削および調査が終了)

巻上機室の基礎工事ややぐら設備等の地上設備の設置作業

振動によって地下を調べる研究 (9月10日に現場作業を終了)

浅い4本のボーリング孔 (MSB-1, 2, 3, 4号孔) での水圧などの長期観測

狭間川における流量観測および用地周辺井戸での水位観測

【正馬様用地】

既存のボーリング孔での水圧などの長期観測

地層研ニュースに関するご質問、または瑞浪超深地層研究所や正馬様用地の見学をご希望の方は、下記までご連絡ください。

フリーダイヤル：0120-333-112 東濃地科学センター 地域交流課 (青木, 松浦, 福島)

【東濃地科学センターホームページ <http://www.jnc.go.jp/ztounou/index.htm>】

瑞浪超深地層研究所の 見学会を開催しました

9月10、11日、瑞浪超深地層研究所の見学会を開催しました。

この見学会では、地域の皆様方や報道機関の方も含めて多くの方々に参加していただき、瑞浪超深地層研究所の主立坑 (51.5 ㍍) および MIZ-1 号孔 (掘削長 1,300 ㍍) などを見学していただきました。

なお、今後もこのような機会を設けて参りたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

用語あれこれ

【硬度3とは?】

前号に引き続きモースの硬度について硬度3をご紹介します。硬度3で代表的なものは方解石と呼ばれる鉱物で、主にカルシウムから成る鉱物です。色は基本的に無色ですが、鉄やマンガンを含むことによって黄色やピンク色などになります。方解石は着色成分として陶器の釉薬 (うわぐすり) やガラスの添加剤に使われています。

また、硬度3ですと爪 (硬度2.5) では傷がつけられない硬さです。10円硬貨 (硬度3.5) であれば傷つけることができます。

瑞浪国際地科学交流館の10月の展示案内

瑞浪国際地科学交流館の1階にあるミニギャラリーでは、「ブルーファンタジー写真展」の作品を展示いたします。是非、瑞浪国際地科学交流館へ足をお運び下さい。

【期間】10月15日~11月30日 (10:00~21:00)

【場所】瑞浪市明世町戸狩字大狭間 36-8

来月の主な作業予定(10月)

【瑞浪超深地層研究所】

深いボーリング孔での調査 (MIZ-1号孔)

2本のボーリング孔で振動を用いて地下を調べる研究

深いボーリング孔で振動を用いて地下を調べる研究

やぐら設備等の地上設備の組立・設置作業

浅い4本のボーリング孔 (MSB-1, 2, 3, 4号孔) での水圧などの長期観測

狭間川における流量観測および用地周辺井戸での水位観測

地表の傾斜量を測る装置の設置作業

【正馬様用地】

既存のボーリング孔での水圧などの長期観測